

「魔女の瞳を訪ねて」

(1388) M/K

2012年の会山行No.29, 東吾妻～一切経山の×切が過ぎ、山行断念の返信を出して2日後朝刊の一面を使った広告に眼を奪われた。何と一切経山と五色沼（別名魔女の瞳とも呼ばれている）が紅葉の時期に家形山山頂付近で撮られた写真らしい。福島県の観光大使にもなっている人気グループ TOKIO のメンバーが福島県の観光客誘致の一役を担っているのだ。過去には2度この方向から見た記憶があった。1度目は50年も昔、学校のワングルの合宿で吾妻連峰中央部の東大巔から昭元山、烏帽子山を経て家形山から一切経山へ向かった時、2度目は5年くらい前、妻と一切経山から家形山へ登った時。

No.29の予定は9月7日、週間予報では雨だった。ところが2～3日前から天気予報に変化が現れ始めた。お天気に恵まれそうになってきたのだ。では行ってみようか撮影ポイントを探してみようかということになり出かけたのです。一切経山の尾根ルートは5年程前から大穴火口壁から火山性ガスが噴出するようになって閉鎖され、

酸ヶ平経由となっている。浄土平から約80分一切経山到着、晴れており五色沼もきれいに見える。登山客も結構いる。さあ家形山へ向けて出発、ザレ場状の滑りやすい急斜面をくだり、樹林帯に入るとリンドウの花が出迎えてくれた。一切経山と家形山のコルに出る。五色沼に一番近いところだ。ここまでくると登山客はほとんどいない。家形山の撮影ポイントを目指して登る。ここはと思われる地点にくると新聞の切り抜きを取り出して見比べ、又少し登っては切り抜きを出して見比べる。3度ほど繰り返してようやくポイントを発見。家形山の山頂のすぐ下のガレ場だった。紅葉の頃に来てみる価値のある景色だった。山頂には我々2人と女子大生一人（昆虫の研究に来ているといていた）と私より少し年上と思われるじい様一人の計4人のみ。何とも静かな山行でした。



家形山から魔女の瞳と
云われる五色沼と
一切経山を望む